

対馬市地域公共交通活性化協議会

平成21年2月23日設置
平成22年3月19日連携計画策定



概要

対馬市島内における移動手段は、路線バスが主体であるが、少子化、人口の減少や車社会の進展などにより、利用者は減少の一途をたどり、そのため、高額な運賃、路線の減便・廃止、さらなる利用者の減少という負のスパイラルに陥っている。

しかしながら、高齢化の進展が著しい本市においては、公共交通機関の維持は不可欠なものであるため、運送形態の再編や利用促進策の展開により行政コストの削減を図りつつ、削減費用を更なるサービス拡大に向けて投資を行う「活性化の循環サイクル」の構築を基本に、「持続可能な新たな公共交通体系」の構築に向けて取り組む。

○予約制乗合タクシーの実証運行

平成21年度に行った調査結果において、乗車定員10人以下の車両により恒常的に輸送可能な路線においては、路線バスから乗合タクシーへの輸送手法の転換によりコスト削減を図るとともに、便数の増加・運賃の低廉化を図り、利用者の利便性の向上に取り組む。

平成22年度実施路線

- 五根緒地区～舟志地区間
(路線バス五根緒線の代替)
- 椎根地区～日掛地区経由～厳原市街地
(路線バス佐須線の代替。日掛地区の交通空白解消も図る。)



○公共交通の利用促進策の実施

運賃問題の改善策として、交通機関利用に関する新商品の販売を行うとともに、航路・航空路との接続に配慮したダイヤ編成による利用促進を図る。

- 1ヶ月定額フリーパスポート導入実験
路線や利用回数を問わず、期間中であれば何度でも乗降可能な新商品の販売
- 接続・乗継に配慮したダイヤ編成 (乗合バス事業者が適宜実施)



- 公共交通利用促進策
- 1ヶ月定額フリーパスポート導入 (陸上交通機関)
 - 他公共交通機関との乗継向上 (空路・航空路との接続向上)

